

# ベスト フレンズ

箭山如水会福岡支部便り

No.15



平成28年3月発行

## 箭山如水会福岡支部

支部長 前岡 正人

事務局 : 〒813-0001

福岡市東区唐原3-9-2 城戸崎方

TEL 092-672-5764

編集責任者 城戸崎 重夫

### ■ 同窓会へのお誘い

支部長 前岡 正人 (30年機械科卒)

昨年の福岡支部は、第5回総会の開催、ベストフレンズの発行、旅行会(年1回)の開催、北九州支部との合同ゴルフ会(年2回)の開催など活発に活動を行ってきました。第5回総会は平成27年5月16日(土)に西鉄グランドホテルで開催され、参加者は来賓者を含み46名となりました。この内、会員の参加者は、32名で昭和51年卒業生がもっとも若い参加者となっています。また、これらを運用する役員は17名で昭和51年卒業生が最も若い役員となっています。このように福岡支部も役員の高齢化や総会参加者の高齢化・減少などの問題がありますが少しでも発展するよう努力したいと考えています。さて、本年も第6回箭山如水会福岡支部総会が5月21日(第3土曜日)に西鉄ソラリヤホテルで開催されます。従来と同様、母校の校長先生はじめ同窓会本部、北九州支部の各役員の出席を予定しており、それぞれの方々

の最新情報が聞けるなど年一回の機会です。皆様の参加をお願いします。特に工業系の同窓会の総会参加者が少なく、また支部の役員は殆ど商業系の方で占めており運用を行っています。せめて半数ぐらいの工業系役員を期待したいものです。まずは総会に参加していただき同窓会を実感して頂きたいと思います。同期の方々をお誘いの上参加するなど期待しています。また若い方々参加が無く苦慮しております。総会の案内は、入手している名簿を元に案内状を送付する方法をとっておりますが、個人情報取扱の規制があり若い世代の情報入手が困難となっています。同窓会のホームページを見て参加をして頂ければと期待しています。また、総会のあり方の提案などのご意見を事務局に連絡して



頂ければ幸いです。学校や同窓会本部・各支部の活動状況などの情報はホームページで入手出来ます。インターネットで「中津東高」「箭山如水会」名の検索で情報を入手してみてください。総会以外の各種活動への参加も大歓迎です。



箭山如水会福岡支部の平成27年度活動状況

年月日	行事名	場所	参加者など
27年4月17日	第5回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	福岡国際CC	16名参加(福岡支部より7名参加)
27年5月16日	第5回箭山如水会福岡支部総会	西鉄グランドホテル	46名参加
9月27日	箭山如水会北九州支部総会	このみ倶楽部	福岡支部より8名参加
10月9日	第6回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	玄海ゴルフクラブ	21名参加(福岡支部より9名参加)
10月25~26日	別府温泉一泊旅行	別府温泉「かなわ荘」	11名参加
11月14日	箭山如水会本部総会(本部・支部合同会議)	グランプラザ中津ホテル	福岡支部より8名参加
28年1月30日	沖代会・役員会新年会	天神テルラ「花万葉」	15名参加

箭山如水会福岡支部役員会

年月日	行事名	場所	参加者など
27年4月14日	総会準備打合せ	天神「西鉄ソラリヤ」	15名参加
6月23日	総会反省会及び旅行打合せ	天神「雑魚屋」	15名参加
12月20日	忘年会・ベストフレンズ15号原稿依頼	天神「雑魚屋」	10名参加
28年1月30日	新年会・総会打ち合わせ・役員人選	天神テルラ「花万葉」	15名参加

## 本部総会懇親会開催のお礼と報告

箭山如水会事務局長 木村 朋昭(40年機械科卒)

「ベストフレンズ」15号の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。また、福岡支部役員皆様には平素より同窓会活動にご尽力頂き衷心よりお礼申し上げます。さて、平成27年(第5回)中津東高校同窓会「箭山如水会」本部総会・懇親会が11月14日(土)グランプラザ中津ホテルにおいて、恩師や各支部役員のご来賓をはじめ会員、総勢300有余名が出席して盛大かつ有意義に開催することができました。本部の総会、懇親会の運営については年度毎に当番卒業生を決め、多くの卒業生に広く参加して頂くことを目標に開催しています。本年度は工業系51,52年卒生、商業系52年卒生が中心に5月下旬に実行委員会を発足して熟慮検討を重ね、準備してまいりました。開催にあたっては中津市内の多くの企業・商店等より広告協賛を頂きましたことも付記しておきます。今年の懇親会では実行委員の計らいで37年商業科卒・小倉佳二氏のご祝儀舞、アトラクションは市内本耶馬溪町の禅海太鼓、山国町のひよっとこ踊り、42年商業科卒・末次恵子さんの歌謡ショー、中津市職音楽部の演奏やお楽しみ抽選会など会場

はととも盛り上がり

ました。最後は新中津東高校、中津工業高校、中津商業高校(旧中津東高校)の校歌を生バンド演奏で斉唱し、次期実行委員の引継ぎ、本部顧問小倉廣光氏の万歳三唱で閉会しました。総会の前に行いました本部支部との合同会議にも議題に出ました共通の課題は、参加者の減少と高齢化が進み活動が危ぶまれる状況にあり、「若い同窓生を如何にして参加できるようにするか!」につきまして学校、部活顧問にもお願いして積極的に行動できるよう働きかけをし、より以上の運営の充実を図り、会員相互間の融和並びに各支部と連携をとり、中津東高校同窓会がより発展するよう努力していきたいと思っておりますので皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、福岡支部の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、総会、懇親会開催のお礼と報告の挨拶とさせていただきます。



松本邦男新会長



事務局長 木村



平成27年11月14日(土) グランプラザ中津ホテル



## 関西支部便り

関西支部長 小倉 利幸(37年商業科卒)

福岡支部の皆様ご健勝でお過ごしのこととご拝察申し上げます。このたびのベストフレンズ15号のご発行を祝し、心よりお慶びを申し上げます。さて、関西支部も第4回総会・懇親会を平成27年5月30日(土)ネストホテル大阪心斎橋でご来賓4名(本部・松本会長、本部・松林筆頭副会長、母校佐藤校長、キングレコード専属歌手・末次恵子様)をお迎えして総勢57名の集いで晴れやかに開催することが出来ました。総会も無事終えて懇親会では今年もまた大いに酒を酌み交わし母校郷土等の昔話などで語り合い、余興では末次様の歌謡ショーから幕が開きビンゴゲーム、ジャンケンゲーム、飛び入りカラオケ大会で大変盛り上がり商業・工業の壁も無く意気投合してお互いにしっかりと同窓の味を噛み締め合って盛会裏に終わることが出来ました。支部の部会活動としての歴史探索ウォーキングは平成27年10月16日(金)兵庫県の武庫川渓谷に於いて又、ゴルフコンペは平成27年11月6日(金)茨木国際ゴルフクラブに於いて共に予定通り同窓会・秋の催しを元

気よく楽しみました。尚、関西支部は同窓会への関心度が極めて低いので会の運営上、会員制支部に昨年より移行して今年は2年目を迎えました。現在は会員数は丁度100名で支部運営もお陰様でかろうじて維持継続できていますが会員の高齢化(ちなみに来賓を除き昨年の参加者の年齢内訳は80歳代6名、70歳代33名、60歳代14名でした)で今後は会員数の減少が必然的に生じてきます。これを補うためにも若い世代の方の加入が必須条件です。これが今後の支部運営の大きな課題です。この対応策に幹事一同、大変苦慮している次第で

すがとりあえず会員の皆様からの口コミで同級生や知人をお誘いしていく以外に策がなく支部会員一同努力しております。最後に福岡支部の益々のご発展と皆様のご健勝ご活躍をお祈りしております。



協賛広告ありがとうございます

祝! ベストフレンズ15号発刊

本部顧問 松永 勇治 (39年商業科卒)  
中津市福島325 電話:0979-32-0712

祝! ベストフレンズ15号発刊

本部会長 松本 邦男 (42年土木科卒)  
中津市上池永 電話:0979-23-2303

## 第5回 関東支部総会を賑やかに開催

関東支部幹事長 花水 正平(32年商業科卒)

「ベストフレンズ」15号の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。当支部の第5回定期総会は、本部の松本邦男会長他役員と母校の佐藤扇太郎校長先生をお迎えして、平成27年9月6日(日)東京ガーデンパレスで46名が出席し、賑やかに楽しく開催しました。今回の総会及び懇親会は、初めて女子会員の司会により和やかに進められました。総会は、議事の役員改選は全員留任で承認され、ご来賓の松本会長並びに佐藤校長より、サッカーの応援に対するお礼と故郷中津や本部と母校の現況報告がありました。懇親会では、松林郁子副会長と松永勇治顧問よりご挨拶を頂き、松本会長と松永顧問より寄贈された故郷の銘酒「耶馬美人」を全員でお美味しく頂きました。

懇親会のイベントは、女子会員によりビンゴゲームが楽しく行われ、リーチが掛り景品が当たる毎に歓声が上り、大いに盛り上がりました。恒例のカラオケ大会は、松本会長・松永顧問も自慢の歌を披露され、歌唱力に定評のある恒行和美さん(36年機械化卒)が「ありがとう感謝」を熱唱し、最高に盛り上がりました。最後は、旧中津東高校校歌と中津工業高校校歌を声高らかに斉唱し、1月31日(日)開催の第5回新年会での再会を楽しみに笑顔で散会しました。

しかし、当支部の課題は会員の高齢化と減少が進み、それに次代を担う若い会員の参加が少なく厳しい状況です。その結果、運営費に充当する会員の年会費(2000円)も減少し、対応策として次回の新年会より返信のない会員への案内を中止し、通信費を削減することにしました。終わりになりますが、福岡支部の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、当支部のご報告といたします。



## 「別府一泊旅行」

中野 久米夫 (45年商業科卒)

10月25日(日)～26日(月)箭山如水会福岡支部は総勢11名少人数なれど好天候の中別府一泊旅行を楽しみに旅館迎への幸野運転手バスにて出発。初日飯塚経由で昨大河ドラマで知名度を上げた「官兵衛」ゆかりの中津で割烹「丸清」にて本部の松林筆頭副会長様を含めて4名と共に昼食し三光村の広大なコスモ畑まで案内して頂き感謝申し上げ中津を後にしました。第一の観光地は全国に約44000社ある八幡宮の総本社である「宇佐神宮」へ滞在時間があまりなく残念でしたがいかがでしたか。お参りの作法はわかりましたか。ここは二拝四拍手一拝が正解です。それぞれの祈願したことが神様に届くといえますね。第二立ち寄り場所、焼酎「いいちこ」で有名な三和酒類株が経営している安心院ワイナリー「安心院葡萄酒工房」へ見学。係りの方が丁寧に説明して頂き、社名の経緯を聞きましたが今現在ではいろんな種類を扱うには適した社名で良かったとのこと。説明終了後、試飲で皆さん沢山飲みましたでしょうか。帰りには焼酎「いいちこ」をお土産頂き、ありがとうございました。本日の観光行程を終え、宴会目当の宿 湯元旅館「かなわ荘」へ到着で旅の疲れを癒すため皆さん早めの温泉に浸かり、身綺麗になったところで、宴会会場へ。



(中津本部から参加を頂き楽しい昼食会でした)

梶屋先輩の乾杯の音頭で宴会のスタートとなり、当旅館からの出し物での「無法松」と空想ひばりのマドロス姿と歌を聴きながら、懐石料理に舌つみして、カラオケに入り皆さんが我先と喧嘩になったらいけないので席の順番で歌いました。相部様の踊りを交えた歌声には流石だなあと皆さん関心したのでは。相変わらず、一年一回の美声を聞かせて頂き、皆さん元気ですね。旅行幹事としては来年とは言わず、いつまでも聞かせて下さいね。各自部屋に戻り酒飲みながら、語りつくせぬ話で就寝。翌日の朝食での7時30分と聞いていたのが旅館側から8時と言われてガッカリした女性がいましたが朝食の内容にびっく

り。おかずが多くて皆さん全部食べれましたか。残した方々いたのでは。二日目、幸野運転手の迎えと旅館の女将と仲居さんの見送りで全員元気よく出発。支部会員・笠木先輩の経営する「ニュードラゴン」洋菓子店立ち寄り、皆さん同窓の好で沢山お土産を買われましたね。特に女性は?…帰宅して食したら美味しかったですね。帰りにはお土産を頂き、ありがとうございました。観光地湯布院市街地の散策。中国、韓国人の多さには我々ビックリしたが、すれ違う日本人も同様なことを声を出して言っていましたね。その方々に沢山のお土産を買って頂いて、湯布院は元より国内の景気向上に役立てばいいかなと思う次第です。又、皆さんトイレ探して見つからず急いでバスに乗り、幸野運転手に早めのトイレ休憩をお願いしましたね。トイレに着くまでお酒を差し上げたら、尿漏れが気になり、遠慮する方もいましたが湯布院道の駅で到着や否や一目散にトイレに駆け込みましたが大丈夫でしたか。残りのお一人様に気を利かせて、トイレの側までバスを横付けしました運転手に感謝。落ち着いたら、車中でそれぞれビール、お酒、お水等飲んでいましたね。日田での昼食で最後の小宴会、ビールが残り、ビール好きな相部様、谷川様に感謝申し上げます。今回の旅行での最後の観光地豆田町ではそれぞれ散策しながら物色して、「買い物する人」「コーヒー喫茶で休憩する人」十分楽しんで頂いてでしょうか。運転手幸野様は運転技術が上手いので聞いたところ、以前亀の井バスに勤務していたとのこと。途中、ガイドを交えた話で旅行での一つの思い出になりますね。人との出会いに感謝したいと思います。一路、博多駅に向けて、帰路に着いた皆さんと解散しましたが、お土産多く買った女性が無事に帰れたか心配しつつ、小生も自宅に帰り着きました。その日の晩酌で妻に話しつつ、風呂に入り、床に就きました。皆さんはいかがでしたか。又、来年の旅行を楽しみに。



協賛広告ありがとうございます

「箭山如水会」に乾杯！  
中津東高同窓会関東支部  
幹事長 花水 正平(32年商業科卒)

祝！ベストフレンズ15号発刊  
筆頭副支部長 中野 久米夫(45年商業科卒)  
糸島市 電話：092-324-8640

## 第5・6回福岡・北九州合同ゴルフ会

この合同ゴルフ会は、毎年春と秋の2回開催しています。

平成27年は、第5回を4月17日に宗像福岡国際CCで、第6回を10月9日に玄海GCで開催しました。結果は下表の通りです。さて、第6回のゴルフ会について楽しかったゴルフの様子を一部紹介します。玄海ゴルフクラブは宗像大社をさらに神湊方面に進み、海沿いの道路を右手に1km程進むと右手に松林で覆われたシーサイドコースがある。昭和38年開場の名門コースと言われており、豊に育った年輪を感じさせる松の緑が気品あふれる風情を出している。また、北九州市や福岡市から約1時間という絶好のロケーションである。昨春秋、台風のため直前で余儀なく中止したコースであり、再挑戦である。秋晴れで絶好のゴルフ日和の中、21人6組と盛大な会となった。遠く宇佐市からも参加があり、世話人としても感謝しています。記念写真を撮った後、前回優勝者の用正昭則(北九州・34年電気科卒)さんの始球式でプレイ開始である。このコースは両側に松林があり曲がると松林に入る難しいコースである。和気藹々、楽しいゴルフが出来て会の目的である懇親を深めることが出来ました。



プレイ後クラブハウスで表彰式を行い、また、次回の再会を誓い帰路に着きました。優勝は、鷺海哲明(福岡・42年商業科卒)さんでした。参加人員も増加の傾向にありますが更に新会員の入会大歓迎です。現在の会員は32名(内女性1名)で、昭和22年卒業～昭和50年卒業幅広い構成となっていますが、昭和30年代卒が大半を占めており、若い方の参加を期待します。特に女性の方も参加して頂くと、もっと盛り上がると思いますので期待しています。ゴルフは高齢になってもプレイする方が沢山います。健康と元気をゴルフでキープしましょう。今年も4月に実施予定ですので多数の参加を期待しています。

記:前岡正人(30年機械科卒)

	第5回ゴルフ会	第6回ゴルフ会
年月日	平成27年4月17日	平成27年10月9日
ゴルフ場	福岡国際カントリー倶楽部	玄海ゴルフクラブ
参加人員・組	16人、4組、	21人、6組
優勝	用正昭則(北九州・34年電気科卒)	鷺海哲明(福岡・42年商業科卒)
準優勝	大木敦夫(福岡・36年商業科卒)	楠 隆治(北九州・37年土木科卒)
三位	岡本紘一(北九州・34年冶金科卒)	小関昭太郎(福岡・33年商業科卒)

### 第5回福岡・北九州合同ゴルフ会優勝の弁

用正 昭則(34年電気科卒)

第4回合同ゴルフコンペの優勝に続いて、今回も良きパートナーに恵まれ?良きハンディに恵まれ優勝を頂いて吃驚しています。改めてゴルフの面白さや醍醐味を味わっています。前回と同様、電気科34年卒の4人でプレーでき、毎々同じ様な会話、同じ様なスコアでゴルフが出来た事に感謝しています。このような機会を作って、ゴルフ会をお世話にして頂いている瀬口会長はじめ世話人様には改めてお礼申し上げます。同級生の訃報の話が出るたびにゴルフの出来る境遇に改めて4人それぞれ感謝しています。ゴルフをするためには体力も必要だし、また少しのお金も必要です。ゴルフの出来る境遇が何時まで維持出来るか、分かりませんが、体力維持に努めてこの様なゴルフ会に長く参加出来るよう願っています。最後に箭山如水会の今後の発展と皆様様の健康をお祈りします。ゴルフ場でお会いできることを楽しみにしています。



用正さんの始球式、前方にスモークボール



### 第6回福岡・北九州合同ゴルフ会優勝の弁

鷺海 哲明(42年商業卒)

此の度、箭山・如水会のゴルフ会(玄海GC)に参加させていただき、コースも天気も申し分なく私自身久々のラウンドで1番ホールへのアイキープはかなりのプレッシャーでした、おかげ様で微力ながら会に寄与することが出来ました、今年はアイアンをシニア用に換え道具は揃ったと意気込んで参戦しましたがアイアンが言うことを聞いてくれずショートのアピンホールは一回のグリーンオンも出来ず道具は立派、腕に課題があることがわかりました、特に17番ショートは渋滞でギャラリーも多くなりオンすればアピンだったので結果何方も..それからいつも上がり16・17・18番の3ホールはスコアカードの通りのスコアで上がる気持ちで挑戦してるのですが、16番ホールはコースの思惑通りの罠のバンカーに1打目・3打目と入り脱出に一苦勞パー4のところ7となりました、玄海GCは難しい、結果上がってみすと1

7番が隠しホールに含まれており、おかげさまでハンディーに恵まれ栄えある優勝を頂きありがとうございました。同伴者の小倉様楠様にはキャディ役もしていただき楽しいラウンドの一日となり感謝方々お礼申し上げます。これからもコースでは極力歩き足腰を鍛え健康に留意し次回も皆様とお会いできることを楽しみにしております。また、幹事の皆様・毎回コース確保案内賞品手配等いつもご苦勞様です御礼申し上げます



協賛広告ありがとうございます

箭山如水会 福岡支部

支部長 前岡 正人 (30年機械科卒)  
筑紫郡那珂川町 電話:092-408-7736

祝!ベストフレンズ15号発刊

監査 市丸 幸子 (31年商業科卒)  
福岡東区 電話:092-671-2775

## 情けは人の為ならず…タイでの生活

熊谷 文子(41年商業科卒)



以前にもお話をさせて頂きましたが、私は海外赴任を命じられた夫についてタイへ渡り、そこで夫と共に約7年半を過ごしました。タイ語は結局、日常会話のままらぬほどのレベルで終わりましたが、有り難いことに私にはタイ人の友人も数人できました。彼女たちのお陰で私はおおいにタイの文化・習慣、思考に触れることもかかいました。(ちなみに、彼女たちは日本語を取得しており、私たちの間のコミュニケーションはほとんど問題ありませんでした。)その友人たちの中に、仕立て屋の女性オーナーがいました。彼女は私たち夫婦にとっても良くしてくれました。彼女抜きには私のタイ生活は語れない、といっても過言ではないほどです。今回は、彼女を通し垣間見たタイの方達(仏教徒)の宗教観とその教えの実践についてご紹介致します。私はよく彼女の店に顔を出しました。店内は色とりどりのタイシルクの反物がところ狭しと並び、オーナーは次から次へと入る注文をてきぱきとこなします。華やかで活気のある店の様子は今でもありありと思い出せます。私は若い頃から洋裁を趣味にしていたので、仕立てには多少の心得があり、日頃の恩返しのためにもあって、店にやってくる日本人客の好みなどをオーナーに伝える役割も買って出ておりました。さて、午前中から店に入り浸り、そろそろ昼食時となれば、彼女は必ず私に食事を振舞ってくれました。彼女は居合わせた人すべてに食事を振舞うのです。私は毎回この厚情に甘え昼食をある日一緒にすることになりました。その日、私が店で昼食を頂いていると、若者が店の入り口にやってきて彼女に何か言いました。そして彼女はいくらかのお金を若者に渡しました。若者は、食べ物を買うお金が無く、食べ物を分けてほしいと言ったそうです。しかし、すでに食事に余分がなかったので、彼女は食べ物では無



く、食事が買えるだけのお金を渡しました。その後も何度か同じ様な場面がありました。私たち友人が毎日の様に店にやってきては、昼食をご馳走になる。さらに、見ず知らずの人にまで食べ物を上げる、食べ物が無ければお金まで上げる。と言うのでは、さすがに大変だろうと思いました。私が「あなたはとても立派な人ですね」と言うと、彼女は「これは特別なことでは無いし、私に食べ物を分けてくれと言う人は、私に徳を積み機会をくれている。私はそのことに感謝して彼らに施しを行っているのです。」と話してくれました。タイでは仏教徒の割合が一番多く、小乗仏教の教えが一般的となっています。人々は、輪廻転生を信じており、この世で辛い目に遭うのは前世での徳が足りなかったからと考えられています。困っている人に施しを行うことは徳を積むことであり、人々は来世の幸せを願って徳を積む、ということです。まさに「情けは人の為ならず」ということなのです。「情けは人の為ならず」と聞けば、我々日本人も世の中はすべてがつながりであり、自分の行いは必ず自分に帰ってくるという道理は分かりますが、普通の生活ではなかなか意識することがありません。また、小乗仏教は時に短絡的に、自分さえ良ければ良いという解釈をされるのですが、私が知る限り、周りのタイの方たちは決してそのようなことはありませんでした。自分を大事にすることが、ひいては、他の自分(=人)も大事に思うことにつながっていると感じたからです。皆、調和を大事にし、慈悲深く、好ましい人ばかりでした。与えることは自分を減らし、損をしようと考えがちですが、与えることは自分も、人も慈しむことになり、人を豊かな気持ちにさせるのだと改めて感じ入ったのでした。

## 孫 4人

大木 敦夫(36年商業科卒)



退職して7年を過ぎた。老人会役員など、地域のボランティア活動に精をだしているが、最近では四人の孫と過ごす時間が多くなってきた。長男のところの二人、中学2年の上の娘は学校の成績はよい方のようにだが、運動の方はビリから数えたほうが早いそうで、本人も気にして父親に対策を相談しているようだ。難しい年頃になってきたが、我が家では楽しそうにしている。小学校5年生の男の子、学校の成績は下のほうだが、活発で友人も多い。幼稚園の時、運動が好きなのでサッカークラブにいれたが、試合中に飛行機を見上げているような性格で団体競技には向いていない。1年生の時に冗談で剣道をやったらどうかと話したら、やるという返事であった。剣道は冬でも裸足で厳しい稽古をするので長くは続かないと思っていたが、「先生達は冬に足袋を履いていてズルイ」と文句を言いながらも元気に頑張っている。いろいろな大会があり、見に行っているが、1年生の時に一度勝ったが、その後は引き分けがあっても勝ったことがない。負けた時は悔しそうに涙ぐんでいるが、その悔しい気持ちを持つ



ことが大切と励ましている。防具を買ってやるなど、出費もあるが、続けてほしいと思っている。長女のところの二人、小学校三年生の上の子、学校の成績は良いが、自己中心で我儘、読書とゲームが大好きで家の外で遊ばない。娘が心配してスポーツ教室につれて行っているが、指導員から小学生なのに身体が硬いと言われている。剣道やるか?と言ったが返事がない。最近では、いろいろ言われるので我が家に来ても早く自宅に帰りたい様子。5歳の男の子、気が強く活発、最近はお兄ちゃんと喧嘩しても負けずに言い返すようになってきた。娘が仕事をしている為、我が家で過ごす時間が一番多いが嫌がっている様子はない。我が家の方が我儘を言えるのかも知れない。四人ともそれぞれ個性があって、心配でもあり楽しみでもある。しかし、いつまで我が家に遊びに来てくれるか?そのほうが心配だ。彼らと長く付き合えるよう健康でありたいと思っている。

協賛広告ありがとうございます

箭山如水会 福岡支部

顧問 大木 敦夫 (36年商業科卒)  
福岡城南区 電話:092-861-5053

ニードラゴン洋菓子店

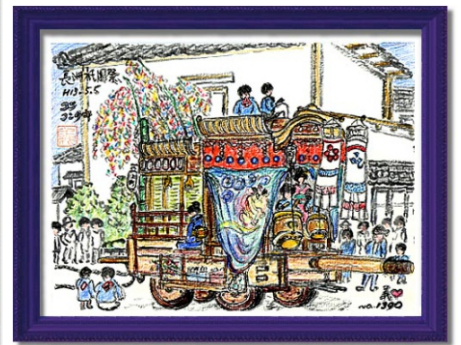
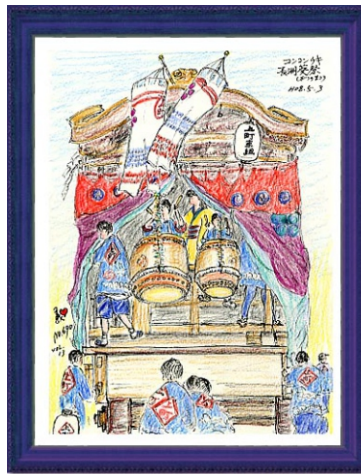
笠木 智恵子 (31年商業科卒)  
別府(流川店,東荘園店) Tel0977-24-6045

# 「長洲の祭り～コンコンチキ」

栴田 義富 (37年商業科卒)

♪ 駅水海に入るところ 右岸に高き、♪ 大許山の朝ぼらけ 靈気漂う気高さを、♪ と母校の小・中学校校歌にある宇佐平野の大自然の風景。大許山(おおもとやま)の麓に鎮座します宇佐八幡様、駅水(えきすい)こと駅館川(やっかんがわ)が宇佐平野を南北に流れ周防灘に流れ込むところ、その河口の町がふるさとの漁師町長洲である。周防灘は鯛や雑魚と言われる地魚や車海老・蛸・烏賊・蟹・蛤やあさりなどの豊富な海の幸に恵まれている。駅館川ではうなぎ・ぼら・シジミ・牡蠣や青海苔などが沢山取れていた。宇佐平野ではお米・麦・大豆・薩摩芋や野菜など四季折々の産物に恵まれ、醸造(酒・味噌醤油製造)業や製麺(うどん・ソーマン製造)業が盛んである。財をなした分限者も多く、長洲の生活文化の中には京大阪のいわゆる上方の影響が色濃く入り込んでいる。平素は辛抱していてもお祭り(晴れ)の日はそれぞれこす晴着やいっちょらを着せてもらい、小遣いも多目に持たせてもらって華やぎを夜遅くまで満喫したものだ。昔は4月ん祭りと言われていたが、今では5月の連休中にあるコンコンチキ(長洲葵祭り)をご紹介します。♪コンコンチキチキ コンチキチ。コンコンチキチキ コンチキチ。チキチンチキチン チキチキチ。ドンドン ドドドーン♪風に乗って聞こえて来るコンコンチキ(山車)の鉦と太鼓の音を頼りに山車の来る方向へ走って行く。各丁(町割り)毎に山車を持っており、子供の頃には7台の山車が綺麗なゴブラン織の緞子に飾られ町内を練り動いていた。コンコンチキには鉦、大太鼓、小太鼓を乗せて、これを叩く大人子供たちと、山車の上で踊ったり歌ったりする踊り子たち、それに衣装係などを乗せていた。屋根上には電線避けるための大人たちも乗せ、とにかく大きくてとても重い四輪車だが、幟を付け、七夕様みたいな飾りやゴブラン織の緞子に飾られた豪華絢爛な山車である。京都の八坂神社の祇園祭りの山鉦巡行、あるいは賀茂神社(長洲にもある)の祭礼葵祭りの様式などが色濃く影響しているようだ。雅

の文化が瀬戸内海を西行して長洲に辿り着いてコンコンチキとして芽吹いたのではないかとされる。京都の山鉦巡行はおっとり上品であるが、長洲のコンコンチキは勢いが有りすごく勇壮である。「まあまた いっふう花のおんれ〜い」「○○○嬢に くだされま ああ〜す」ジャジャジャジャ〜♪ 花の披露の度に鉦が入る。いっふうとは一封、花とはお祝儀のこと。辻毎に山車が止まり、或いは花即ちお祝儀を頂いた家の前で止まり、踊り子が志の返礼に芸を披露する。踊り子達は今で言うスターで可愛くてチャームングで皆惚れた。コンコンチキの鉦は叩けなかったけれど、我がいとこが踊り子に選ばれ鼻が高かったものである。後日談ではあるが、中学校時代このいとこの姉の方の使った本のお下がりでは僕は勉強した。恥ずかしいやら嬉しいやら、そしてそのお陰で今日がある。



# 「旧暦を楽しむ」

森 正明 (45年土木科卒)

1.はじめに  
新春のお慶びを申し上げます、といえば年賀の詞。でも、まだまだ寒いこの時期に新春とは……。それもそのはず、新春とは旧暦のお正月の挨拶をそのまま新暦の元日に当てはめて使われているからだ。思えば五月雨も、5月では雨のイメージはない。むしろ新緑の爽やかな時期。七夕も、今の7月7日は梅雨の末期。星空より雨の夜、仕事柄、豪雨による災害が気になる夜である。

2.旧暦で考える  
旧暦から新暦に切り替わったのは明治6(1873)年。帝国日本の国際化の一環であった。旧暦は月の満ち欠けを基準にしたものであるのに対して、新暦は太陽の動きを基にしたもの。五月雨をあつめて早し最上川、の5月とは今の5月下旬～7月上旬のこと。旧暦の七夕は今年は8月9日で、夏の真っ盛りの、綺麗な星空がイメージできる頃である。私の小学校の頃は8月7日の学習帳に七夕の話があったように思う。東北の仙台の七夕祭りは新暦の8月7日に行われる。7月7日より七夕のイメージは近いように思う。

3.旧暦で過ごす  
今でも旧暦でしか行えない事がある。中秋の名月である。十五夜の月は旧暦の8月15日だが、日付をそのまま新暦に対応させると夏の最中であり、満月と



は限らない。満月は月の動きを基にした旧暦でしか味わえない。今年は9月15日だそう。また、旧暦では今年の正月は2月8日。大寒が過ぎ、梅が見ごろを迎え、草木が芽生え、まさに新春といえる時期ではないだろうか。昨年暮れには久しぶりに赤穂浪士を見た。時は元禄15年、12月14日、四十七士が雪を踏みしめ……。しかし、これも旧暦の日付そのままであり、今の12/14。東京に雪はない。旧暦の12月14日は今の1月30日。そうすると東京の雪はイメージできるのではないだろうか。

4.二十四節気を楽しむ  
これからは立春、春分の日を経て、夏至に向けて日差しが増えていく。これらは太陽の動きを基にした二十四節気であり、今の暦でも季節感は合う。一方、旧暦では日付が動く。旧暦は月の動きを基に、このような二十四節気も組み込んで、季節感を捉えていたのだ。65才になろうとする今年、少し仕事を離れて、旧暦に、二十四節気にと、季節の移り変わりを楽しみたいと思う。1月30日に赤穂浪士を見て、2月8日に、再度、正月を楽しむのだ。



協賛広告ありがとうございます

祝! ベストフレンズ15号発刊  
中野 猛 (34年商業科卒)  
福岡市東区奈多 電話:092-607-1119

(有)江副商店 畳・襖・障子張替  
ごろ寝サポート 江副 節子 (34年商業科卒)  
福岡市早良区原 電話:092-871-5253

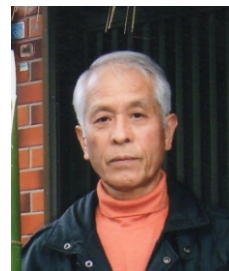
# 北九州支部総会だより

北九州支部長 成重 欽吾(39年商業科卒)

福岡支部会員の皆様ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。「このみクラブ」の発行を祝し心よりお慶び申し上げます。北九州支部は去る平成27年9月27日(日)に第4回「箭山如水会 北九州支部総会」テーマ「広げよう同窓の絆」で会場を新日鉄住金



「このみクラブ」に於いて参加者75名で開催致しました。これも中津本部・福岡支部役員、及び会員の皆様のご協力により盛大に開催出来ました事に深く感謝申し上げます。



懇親会の演目は小倉名物「小倉祇園太鼓」に始まり「カラオケ競演」「ビンゴゲーム」と大いに盛り上がり、酒を酌み交わしながら和気藹々の中、昔の思い出話を花を咲かせながら楽しい一時の中無事総会が終了出来ました事に心よりお礼申し上げます。

今回は例年土曜日に開催していたのを日曜日に開催しましたが如何でしたか。又、平成28年1月22日(金)18:00よりこのみクラブに於いて第一回目の会議と新年会及び総会の慰労を兼ねて酒を酌み交わし親睦を深めました。総会では役員はカラオケを自重した分、この時ばかりは皆様思い切り美声を披露し楽しい一時を過ごしました。

## 同窓会の思い出

松本 邦男(42年土木科卒)

私は、昭和38年新設の大分県立中津工業高校に昭和39年4月第2期生として、土木科に入学し昭和42年卒業しました。当時は、校舎も未だ完成してなく一部建設中で、グラウンドの整備は土木の実習で排水路やテニスコート等を手作りしました。東京の建設コンサルタント会社に就職、2年遅れて日本大学理工学部短期II部に入学、毎日仕事と勉学に励んできました。東京では10年間、地下鉄や東北新幹線の構造物の設計を担当、最後は、山の手線恵比寿駅構内、恵比寿架道橋の設計を終え、昭和51年中津へ帰り、測量設計会社を立ち上げ、地獄のような10年間を過ごすことになりました。その際、先生方や先輩達に助けられ、今年で創業40年目に入りました。その恩返しに後輩達にも同窓会の有難さを伝えるべく、昭和62年頃から同窓会活動に参加し、事務局長10年続け、稗田二郎氏に事務局長をバトンタッチし常任委員を20数年勤めました。平成に入り商業高校と工業高校合併に当たり、前会長の松永勇治氏・小倉廣光氏や諸先輩方と数十回にわたり同窓会合併について協議し、現在の組織が出来上がりました。今年で6年目になりますが、まだ多くの問題点があるように思います。一つ一つクワイヤし、より良いものに出来ればと考えています。現在、同窓会・学校評議員会として学校を見ていますが、工業高校時代とは大きく異なり、文武両道を実践し、優秀な生徒がたくさん育っています。これも新中津東高校としての自覚と諸先生方の努力の結果であると思

います。現在の中生や親に聞くと、中途半端に普通高校を選ぶより東高校に行き、就職や進学に進むほうが得策と考える生徒が増えていように思えます。また、憧れの優秀な先輩の存在がいて、後輩たちにつながっている証拠だと考えています。このような頼もしい後輩達に期待し、今後とも同窓会活動にご理解ご支援をお願いいたします。



おかげさまで **40周年** 1976.12.1開社

土木技術で地域貢献を目指し、地域と共に歩んだ40年

### 松本技術コンサルタント株式会社

本社所在地：大分県中津市大字上池永1285番地10  
TEL:0979-23-3636 FAX:0979-23-4139 URL:http://www.matsugc.co.jp

**地域インフラの新規計画・整備計画・保守計画・点検調査**

道路・橋梁・砂防ダム・公園・グラウンド・上下水道に関する測量・調査・設計等の土木技術を通じての地域貢献

**災害の調査・復旧** **地域環境の保全**

災害発生時の緊急測量・緊急調査・緊急設計を通じての地域貢献

環境を守る新技術開発による地域貢献

ネコヤナギ、エコ工法

今迄も…、これからも…、皆様の暮らしを守るお手伝いをいたします。

# 郷土の偉人廣池千九郎を紹介します

梶屋孝 太郎(26年商業科卒)

廣池千九郎は、明治維新直前の慶応2年(1866)、現在の分県中津市に生まれ、苦学の末に教師となり、修身(道德)の教科書を編纂し夜間学校を設立するなど、地域の教育改善に取り組みました。その後、歴史学者として数々の論文・書物を著し、法学を学んで早稲田大学講師、神宮皇學館教授を歴任。また、国家的事業『古事類苑』(日本最大の百科史料事典)の編纂に携わり、新しい学問分野「東洋法制史」の開拓・研究を経て、独学で東京帝国大学を通じて法学博士の学位を取得しました。大正15年(1926)には『道德科学の論文』を著してモラロジー(道德科学)を創建、昭和10年(1935)には現在地(千葉県柏市光ヶ丘)に道德科学専攻塾(麗澤大学・麗澤中学高等学校等の前身)を開設。今日の廣池学園およびモラロジー研究所の基礎を築き、モラロジーに基づく生涯教育・生涯学習を推進しました。



### ● モラロジーを構成する六つの領域

#### 1、自我の没却(新しい自己の発見)

私たちは、よりよい自分になるようとして努力していますが、知らず知らずに自己の利益や立場にこだわったり、他者の不完全さを非難したりするものです。また、そんな醜い自分に気づいて自己を責めたりもします。自分自身を素直に見つめ直し、新しい自己を発見していくことによって、他者を認めた広やかで伸びやかな真の自己実現を可能にする生き方を探ります。

#### 2、慈悲の心(自然のはたらきになつた生き方)

私たち人間は、大自然の生命あるものすべてと同じように自然のはたらき、宇宙のはたらきによって生かされ、生きているといえましょう。この宇宙自然のはたらき(慈悲の心)について深く思いをめぐらし、また自らの感性で味わいながら、そのはたらきになつた生き方、考え方を日常生活の中でどのように生かしていくかを具体的に学びます。

#### 3、道徳的な義務(支えあう喜び)

現在の私たちの生活は、地球的なレベルで相互に関連しあいながら助け合い支え合いながら成り立っています。その事実を理解して、支えられ生かされていることへの恩恵の自覚を深め、さらに、「支えられる側から支える側へ」という視点に立って、道徳的な義務の実行が人間生活においていかに大切かを学びます。

#### 4、感謝報恩の心(生存の根源につながる)

私たちは、自分が生命(いのち)と精神(こころ)を受け継ぎ、今、在ることに思いを馳せるとき、すべてのものを育てあげようとする宇宙のはたらきと、その思いを継承する先人の努力によって、生かされていることに気づきます。この自覚を深め、自己の生存の根源につながるころから、感

謝と報恩に根ざした喜びの生活が生まれることを探求します。九郎の生家は以前と変わらず自由に見学することができます。

#### 5、人を育てる心(共感的世界を開く)

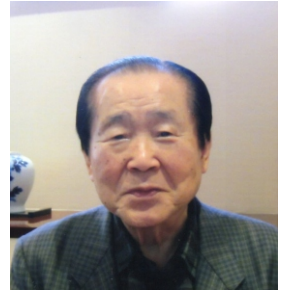
私たちは、よりよい自分になるために、生涯をかけて自己を高めようとしています。それは、他者との深いかわりなしには実現することは困難です。人間関係においては、さまざまなトラブルや難問はつきものです。しかし、他者とのかわりを通して共感的世界を味わう喜びは、そのまま自己を高めていく喜びでもあることを考えていきます。

#### 6、道徳実行の効果(心づかいと人生とのかわり)

私たちの日常生活は、そのときの気分や考えを基準とした選択の連続といえます。言い換えれば、心づかいと行いの蓄積が人生ともいえましょう。どのような考え方、心づかいをすれば、どのような結果が生まれるのか、その因果関係を科学的にとらえ、道徳実行の効果、そして希望に満ちた人生を築くための方法を学びます。

#### ・モラロジー活動の現在

千九郎の意志は、二つの団体に受け継がれています。ひとつは麗澤大学を擁する、学校法人廣池学園(千葉県麗澤大学)です。モラロジーに基づく「知徳一体」の教育が展開されています。もうひとつは、全国に数十万人の維持会員を持つ、社会教育団体 公益財団法人モラロジー研究所です。千九郎の魂は、今も大勢の人々とともに生き、社会に根を下ろした活動として展開されています。私も勉強を始めて14年になります。中津記念館平成26年3月にリニューアルしました。館内には千九郎の生涯と業績をよりわかりやすく紹介。展示室と200名規模の研修会に活用できる講堂を設けました。また敷地内にある千九郎の生家は以前と変わらず自由に見学することができます。



〒871-0162 大分県中津市大字永添2423  
TEL.0979-22-4309  
FAX.0979-22-4907  
開館時間 9:00~17:00

←生家



記念館

## 編集後記

城戸崎 重夫  
(40年商業科卒)



ベストフレンズNo15号をお届けします。

皆様方のご協力によりベストフレンズNo15を発行することができました。寄稿頂いた会員の皆様及び役員各位の賛助広告には厚くお礼申し上げます。ベストフレンズは箭山如水会員同士の活動情報誌として、大きな役割を果たしています。これからもベストフレンズが箭山如水会の情報発信元となり、更に充実した情報誌として一人でも多くの会員の皆様にご拝読頂ける様、取り組んで参ります。

協賛広告ありがとうございます

祝!ベストフレンズ15号発刊  
顧問 梶屋 孝太郎 (26年商業科卒)  
福岡市東区名島 電話:092-662-0786

経営のパートナー 税務・経理支援  
代表 城戸崎 重夫 (40年商業科卒)  
福岡東区 電話:090-4581-7676